

景気動向調査レポート

主要指標			10月			11月			12月		
				前月比	前年比		前月比	前年比		前月比	前年比
人口 及び 世帯数	関市	人口	83,255	-102	-781	83,226	-29	-818	83,215	-11	-809
		世帯数	36,816	-54	341	36,854	38	342	36,890	36	343
	岐阜市	人口	397,265	-51	-1,865	397,622	357	-1,831	397,553	-69	-1,790
		世帯数	189,756	194	1,788	190,281	525	1,890	190,377	96	1,850
	美濃市	人口	18,746	-41	-287	18,726	-20	-299	—	—	—
		世帯数	8,272	-12	6	8,271	-1	9	—	—	—
	美濃加茂市	人口	57,658	71	124	57,672	14	122	57,681	9	82
		世帯数	24,821	81	409	24,819	-2	379	24,818	-1	317
	各務原市	人口	143,628	-108	-635	143,629	1	-632	143,560	-69	-629
		世帯数	63,888	19	753	63,978	90	741	63,975	-3	740
	岐阜県	人口	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		世帯数	—	—	—	—	—	—	—	—	—
住宅着工件数	関市	28	10	-6	22	-6	-15	—	—	—	
	岐阜市	215	60	12	227	12	101	—	—	—	
	美濃市	3	1	-4	4	1	2	—	—	—	
	美濃加茂市	16	-3	-28	41	25	4	—	—	—	
	各務原市	50	-9	-71	51	1	-32	—	—	—	
	岐阜県	772	194	-221	740	-32	7	—	—	—	
雇用失業 情勢	関市	有効求人倍率	1.16	0.00	-0.12	1.14	-0.02	-0.07	—	—	—
	岐阜県内	有効求人倍率	1.42	-0.01	-0.13	1.46	0.04	-0.10	—	—	—
	全国	有効求人倍率	1.20	0.00	-0.07	1.23	0.03	-0.07	—	—	—
企業倒産 状況	岐阜県内	件数	13	-1	6	11	-2	-3	12	1	1
		金額(百万円)	1,185	239	210	1,309	124	-538	1,058	-251	-140

参考資料…国勢調査の関係で、今回は住民台帳による人口推計・世帯数を採用、岐阜県は未発表、他岐阜県建築着工統計等、有効求人倍率は原数値を採用

- 調査期間…令和7年12月上旬
- 調査対象…当金庫取引事業先
- 調査方法…アンケート調査
- 調査内容…令和7年10～12月期の景気実態と令和8年1～3月期の景気予測

はじめに

取引先中小企業の景気動向調査を実施し、取りまとめましたのでご報告いたします。

調査は、令和7年10～12月期の景気実態と、令和8年1～3月期の景気予測などについて当金庫取引事業先の製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業の6業種から抽出した208社を対象にアンケート調査し、191社からご回答をいただきました（回収率91.82%）。

主な指数の推移

D Iとは景気や業況の動きを捉えるための指数
 $D I = (\text{良い} + \text{やや良い}) - (\text{やや悪い} + \text{悪い})$

業種	業況判断D I			売上判断D I			収益判断D I		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	▲ 3.6	▲ 6.2	▲ 7.8	1.0	▲ 0.5	▲ 4.1	▲ 2.6	▲ 6.8	▲ 7.8
製造業	3.7	▲ 3.6	▲ 5.5	11.1	1.8	0.0	7.4	▲ 1.8	▲ 5.5
卸売業	▲ 16.6	▲ 10.5	0.0	▲ 16.6	5.2	11.1	0.0	10.5	22.2
小売業	▲ 5.8	▲ 14.7	▲ 20.5	▲ 2.9	▲ 14.7	▲ 8.8	▲ 5.8	▲ 26.4	▲ 14.7
サービス業	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 14.7	▲ 5.8	2.9	▲ 17.6	▲ 14.7	▲ 11.7	▲ 14.7
建設業	0.0	8.8	▲ 2.9	5.8	5.8	▲ 2.9	2.9	2.9	▲ 5.8
不動産業	0.0	0.0	5.8	0.0	▲ 6.6	0.0	▲ 17.6	▲ 13.3	▲ 23.5

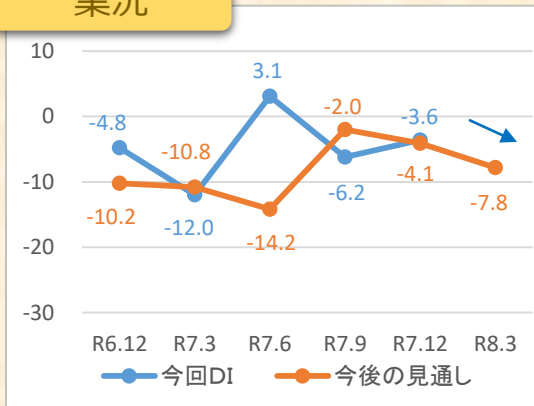
※なお、数値については、少数点第二位以下を切り捨てて表示してあります。

業況判断D Iは総合で▲3.6となり、前回より2.6ポイント上昇で業況は改善した。業種別では製造業が回復、小売業、サービス業は改善したものの、卸売業、建設業は低下し、不動産業は前回と同様となった。

今後の見通しは、総合で今回実績と比べ低下すると予想されており、業種別では卸売業は回復、不動産業は改善するものの、製造業、小売業、サービス業、建設業は業況が低下すると予想されている。

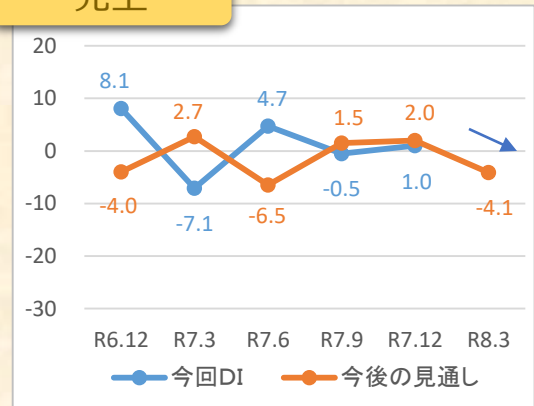
売上判断D Iは総合で前回より1.5ポイント上昇したものの、今後の見通しは、低下すると予想されている。収益判断D Iは総合で前回より4.2ポイント上昇したものの、今後の見通しは、低下すると予想されている。

業況

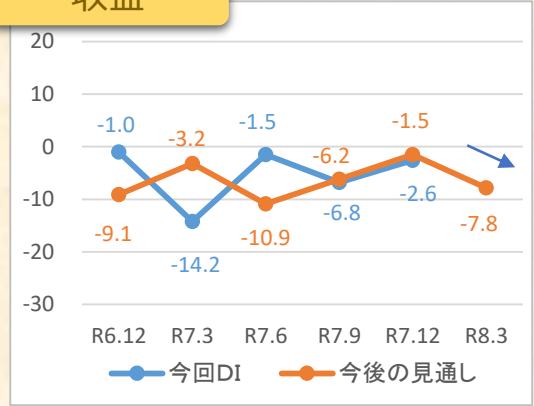


業況は総合で改善した。
今後の見通しは低下すると予想されている。

売上

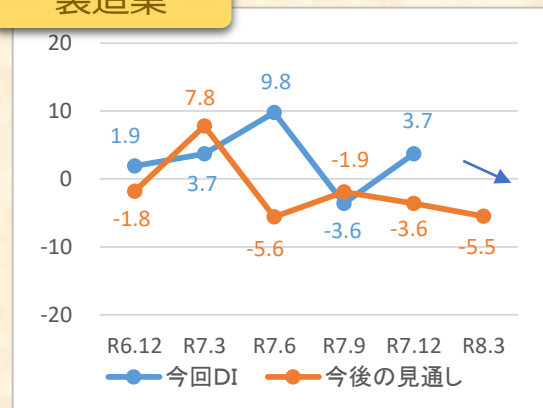


収益



業種別業況判断D I の推移

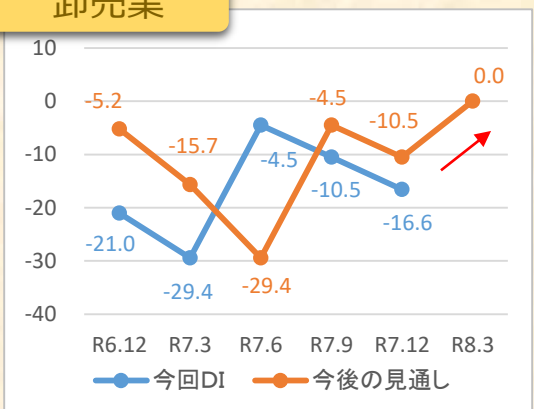
製造業



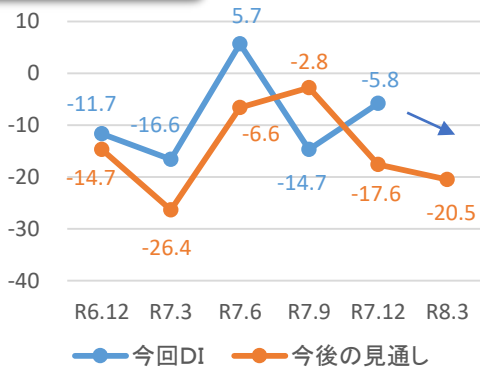
業況は回復した。
今後の見通しは低下すると予想されている。

業況はさらに低下した。
今後の見通しは回復すると予想されている。

卸売業



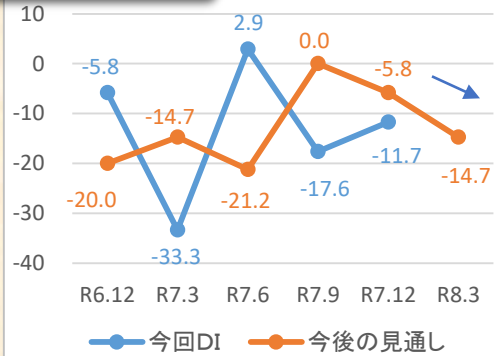
小売業



業況は改善した。
今後の見通しは低下すると予想されている。

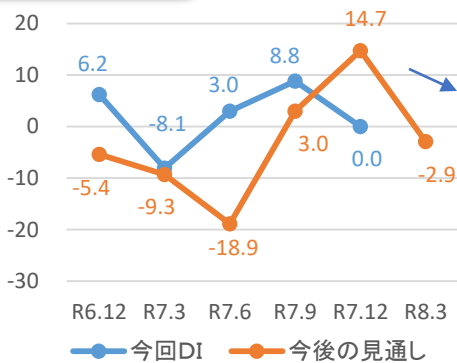
業況は改善した。
今後の見通しは低下すると予想されている。

サービス業



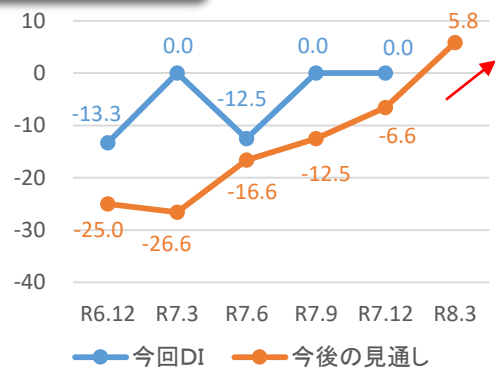
業況は低下した。
今後の見通しはさらに低下すると予想されている。

建設業



業況は現状と変わらず。
今後の見通しは改善すると予想されている。

不動産業



その他の指数の推移

業種	資金繰り判断D I			販売価格判断D I			仕入価格判断D I		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	1.0	▲ 4.7	0.0	17.2	28.7	15.7	39.2	47.1	36.6
製造業	1.8	▲ 1.8	1.8	9.2	20.0	12.9	31.4	40.0	35.1
卸売業	▲ 16.6	▲ 10.5	▲ 16.6	11.1	47.3	27.7	38.8	52.6	55.5
小売業	2.9	▲ 8.8	2.9	20.5	47.0	20.5	38.2	58.8	32.3
サービス業	▲ 2.9	▲ 11.7	▲ 5.8	23.5	32.3	8.8	41.1	41.1	29.4
建設業	5.8	2.9	2.9	17.6	20.5	14.7	47.0	55.8	38.2
不動産業	11.7	0.0	11.7	29.4	6.6	17.6	47.0	33.3	41.1

資金繰り判断D Iは総合で前回より5.7ポイントプラスの1.0に回復。今後の見通しは、今回より1.0ポイントマイナスになるものの、ほぼ横ばいになると予想されている。

販売価格判断D Iは総合で前回より11.5ポイントマイナスの17.2に下降。今後の見通しは、今回よりさらに1.5ポイントマイナスとなり、販売価格の上昇は和らいでいくと予想されている。

仕入価格判断D Iは総合で前回より7.9ポイントマイナスの39.2に下降。今後の見通しは、今回よりさらに2.6ポイントマイナスとなったものの、依然として仕入価格は上昇傾向にあると予想されている。

業種	残業時間判断D I			人手過不足判断D I			設備状況判断D I			設備投資実施企業割合		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	5.7	▲ 4.1	0.5	▲ 23.0	▲ 28.2	▲ 24.0	▲ 7.4	▲ 9.0	▲ 6.3	17.3	25.5	17.3
製造業	7.4	▲ 5.4	▲ 3.7	▲ 24.0	▲ 25.4	▲ 24.0	▲ 7.4	▲ 3.6	▲ 5.5	25.0	27.7	25.0
卸売業	▲ 5.5	▲ 5.2	0.0	▲ 16.6	0.0	▲ 22.2	▲ 5.5	▲ 10.5	▲ 5.5	17.6	27.7	17.6
小売業	5.8	0.0	5.8	▲ 35.2	▲ 38.2	▲ 35.2	▲ 11.7	▲ 11.7	▲ 11.7	9.0	26.4	9.0
サービス業	11.7	▲ 11.7	5.8	▲ 17.6	▲ 35.2	▲ 20.5	▲ 5.8	▲ 17.6	▲ 2.9	12.1	25.0	6.0
建設業	5.8	2.9	2.9	▲ 20.5	▲ 32.3	▲ 23.5	▲ 5.8	▲ 5.8	▲ 5.8	18.7	20.5	25.0
不動産業	0.0	▲ 6.6	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 26.6	▲ 11.7	-	-	-	-	-	-

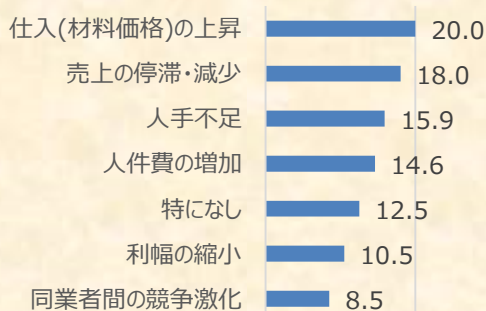
残業時間判断D Iは総合で前回より9.8ポイントプラスの5.7と増加。今後の見通しは、今回より5.2ポイントマイナスとなり、残業時間は減少すると予想されている。

人手過不足判断D Iは総合で前回より5.2ポイントプラスの▲23.0になったものの依然として不足。今後の見通しは、今回より1.0ポイントマイナスとなり、人手不足感は強まると予想されている。

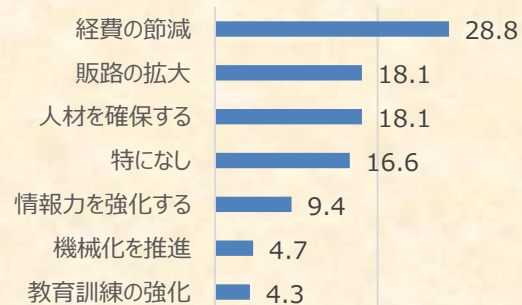
設備状況判断D Iは総合で前回より1.6ポイントプラスの▲7.4になったもののやや不足の状況。今後の見通しは、今回よりさらに1.1ポイントプラスになるものの、やや不足の状況が続くと予想されている。

設備投資を実施した企業の割合は総合で前回より8.2ポイントマイナスの17.3%。今後の見通しは、現状とほぼ横ばいになると予想されており、設備投資に慎重な傾向がうかがえる。

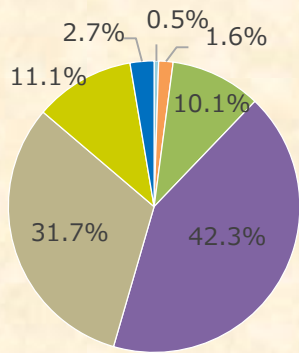
経営上の問題点



当面の重点施策

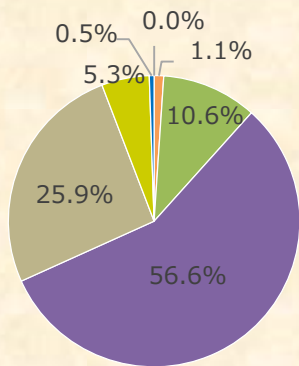


問1. 2026年の日本の景気について



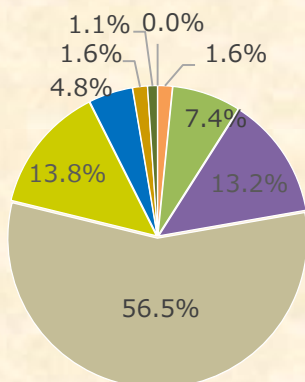
- 非常に良い 0.5%
- 良い 1.6%
- やや良い 10.1%
- 普通 42.3%
- やや悪い 31.7%
- 悪い 11.1%
- 非常に悪い 2.7%

問2. 2026年の自社の業況（景気）について



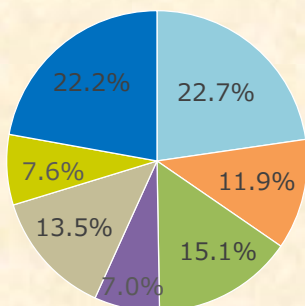
- 非常に良い 0.0%
- 良い 1.1%
- やや良い 10.6%
- 普通 56.6%
- やや悪い 25.9%
- 悪い 5.3%
- 非常に悪い 0.5%

問3. 2026年の自社の売上額の伸び率について



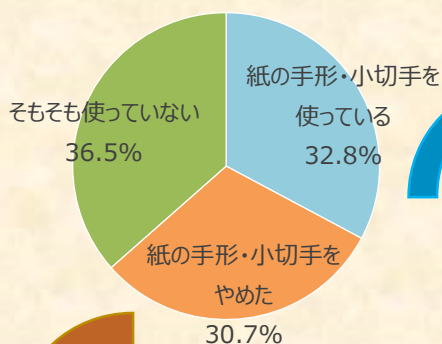
- 30%以上の増加 0.0%
- 20~29%の増加 1.6%
- 10~19%の増加 7.4%
- 10%未満の増加 13.2%
- 変わらない 56.5%
- 10%未満の減少 13.8%
- 10~19%の減少 4.8%
- 20~29%の減少 1.6%
- 30%以上の減少 1.1%

問4. 自社の業況が上向く転換点の時期について



- すでに上向いている 22.7%
- 6か月以内 11.9%
- 1年後 15.1%
- 2年後 7.0%
- 3年後 13.5%
- 3年超 7.6%
- 業況改善の見通しは立たない 22.2%

問5. 紙の手形・小切手の利用状況について



理由

紙の手形・小切手を使っている

取引先との慣行で使わざるを得ない	14.8%
経理事務の変更が困難	10.1%
でんさい、I B等のセキュリティ面に懸念	3.7%
コスト面で現状のままが最適	2.7%
でんさい、I B等の操作面に懸念	1.1%
その他	0.4%

※「I B」はインターネットバンキングを指します。

主な資金
決済手段

紙の手形・小切手をやめた

インターネットバンキング	16.4%
でんさい	12.7%
その他	1.6%



関信用金庫

当金庫ではスマートフォンのアプリ「LINE」において、LINE公式アカウントを開設いたしました。「友だち登録」していただいたお客さまにキャンペーン情報や地域のイベント等をご提供いたします。
公式アカウントからIDまたは公式アカウントを検索するか右のQRコードを読み込んでください。(ID : dum4286b)



本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等に関するご判断は、お客様ご自身でお願いいたします。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。